

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)L京都御所南新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分			
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質										2.9	
Q1 室内環境							0.40			3.1	
1 音環境						2.6	0.15	2.8	1.00	2.7	
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル						3.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策						-	-	-	-		
1.2 遮音						3.0	0.40	3.7	0.40		
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能						3.0	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	4.0	0.20		
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境						2.0	0.35	3.0	1.00	2.7	
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	1.00		
1 室温設定						3.0	0.63	-	-		
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-		
3 外皮性能						3.0	0.38	3.0	1.00		
4 ゾーン別制御性						3.0	-	3.0	-		
5 温度・湿度制御						-	-	-	-		
6 個別制御						-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-		
8 監視システム						-	-	-	-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						3.0	0.25	4.0	1.00	3.7	
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.0	0.50		
1 昼光率		別添計算による。				5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口						3.0	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50		
1 照明器具のグレア						-	-	-	-		
2 昼光制御						2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
1 照度						3.0	1.00	-	-		
2 照度均斉度						-	-	-	-		
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		ほぼ全面に建築材料F☆☆☆☆を採用。				4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策						-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-		
4 レジオネラ対策						-	-	-	-		
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4 給気計画						-	-	-	-		
4.3 運用管理						-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-		
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性						3.4	0.40	3.6	1.00	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.60	4.0	0.60		
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	3.0	-		
1.2 心理性・快適性						4.0	0.40	3.0	0.40		
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース						3.0	-	3.0	-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトがあり、照明計画と内装計画を事前検証。				4.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理						-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計						3.0	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保						3.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性						2.8	0.31	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震						3.0	0.48	-	-		
1 耐震性						3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数						2.6	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		品確法 劣化対策等級3を取得予定。				5.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔						1.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)を採用。	5.0	0.40	-	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤なし。	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		品確法 劣化対策等級3を取得により、建物の高寿命化を図った。	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	屋上広告なし。	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	